

腫瘍切除後組織欠損や合併症に対する再建手術・創治療の臨床学的な特性と治療の効果・安全性に関する研究

研究対象：

国立がん研究センター中央病院形成外科において、国立がん研究センター中央病院開院以降、腫瘍切除後組織欠損や合併症などに対し、再建手術や創部の治療等を実施された方を対象とします。

研究の目的・方法：

腫瘍切除後組織欠損や合併症などに対し、形成外科が介入して再建手術や創部の治療を行っていますが、治療法は依然として改善の余地があります。本研究は、国立がん研究センター中央病院形成外科が治療に介入した患者の診療データを用いて、臨床学的な特性と治療の効果・安全性に関して適切な解析を実施することを目的とします。本研究で得られた結果を新たな治療法を検討する資料とすることに意義があります。

本研究は、国立がん研究センター中央病院の診療録・データベースの情報を収集し、解析することで実施されます。

研究に用いる情報の種類：

診療情報(性別、年齢、身長、体重、疾患名、病歴、生活歴、診療録、血液検査データ、画像所見、写真) 等

問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合、あるいは同意を撤回される場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：赤澤 聡 （国立がん研究センター中央病院形成外科科長）

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院形成外科

電話：03-3542-2511（内線7078） / FAX：03-3545-3567

研究事務局：有川 真生 （国立がん研究センター中央病院形成外科医員）

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院形成外科

電話：03-3542-2511（内線7958） / FAX：03-3545-3567